

研究に関する情報公開

<人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針>に基づき、研究の実施について情報を公開します。

★本研究に関するご質問等がありましたら下記の<お問い合わせ窓口>までご連絡ください。

★ご希望があれば、他の研究対象者の方の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することができます。

★試料・情報が当該研究に用いられることについて、研究対象者若しくは研究対象者の代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、下記の<お問い合わせ窓口>までご連絡ください。その場合でも、研究対象者の方に不利益が生じることはありません。

<研究課題名>	C02 ナルコーシス患者における自律神経活動と瞳孔反応の関係性の探索的研究
<研究機関・研究責任者名>	日本大学医学部附属板橋病院 救命救急センター (研究責任者) 山口 順子
<研究期間>	承認日 ~ 令和 (西暦 2023) 年 04 月 30 日
<研究の目的と意義>	重症患者さんの異常な自律神経活動は患者さんの予後を悪化するとされています。瞳孔の大きさや瞳孔反応は自律神経活動で調整されています。血圧や脈拍数及び呼吸数などのバイタルサインや換気の程度も同じく自律神経活動によって調整されており、瞳孔観察の結果とバイタルサインの関係性を明らかにすることで、患者さんの自律神経活動をより簡便に捉え治療に活かすことができないかどうかについて検討を行います。患者さんの診療経過の中で得られたデータを用いた研究を行います。
<利用する試料・情報の項目>	診療記録より、年齢、性別、X線写真、血液検査データ(血液ガス分析データ、血液生化学データ)、意識状態、市販医療機器である、ポータブル自動瞳孔計(NPi-200®)で測定した瞳孔反応(瞳孔計、対光反射、瞳孔反応測定値)、バイタルサイン(血圧、呼吸数、脈拍数、体温)治療方法、転帰の情報を使用します。
<対象となる方>	西暦2019年11月10日～西暦2019年12月31日の期間に救命救急センター科でC02ナルコーシスによる意識障害の治療を開始された方
<研究の方法>	市販医療機器で、通常の患者さんの診療に用いられているポータブル自動瞳孔計(NPi-200®)を使用して測定し得られた瞳孔径や瞳孔反応(瞳孔の収縮や拡張の速度など)の電子データと診療記録にあるバイタルサインや血液ガス分析から得られた換気状態との関係性を検討します。
<お問い合わせ窓口>	日本大学医学部附属板橋病院(東京都板橋区大谷口上町30-1) 救命救急センター 氏名: 山口 順子 電話: 03-3972-8111 内線: (医局) 2800 (PHS) 8363